

千葉県立海浜病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	先天性腎性尿崩症に対するデスモプレシンの使用実態調査 (No. 2023-17)
当院の研究責任者 (所属)	小野 真 (小児科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	長谷川行洋 東京都立小児総合医療センター 内分泌・代謝科 池側 研人 東京都立小児総合医療センター 内分泌・代謝科/臨床試験科 水野 晴夫 藤田医科大学医学部 小児科学 藤本 正伸 鳥取大学医学部 周産期・小児医学分野 神崎 晋 旭川荘 療育・医療センター 青山 幸平 名古屋市長立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野 濱島 崇 あいち小児保健医療総合センター 内分泌代謝科 石黒 寛之 したのはら小児クリニック 樋口 真司 大阪市立総合医療センター 小児代謝・内分泌内科 中山 尋文 大阪大学医学部附属病院 小児科 長崎 啓祐 新潟大学医歯学総合病院 小児科 田中 征治 久留米大学医学部 小児科 永沼 節子 熊本労災病院 小児科
本研究の目的	先天性腎性尿崩症(Congenital nephrogenic diabetes insipidus, CNDI)の標準治療は、サイアザイド利尿薬ですが、その尿量減少効果は限定的です。CNDIの一部に、抗利尿ホルモンの遠位尿細管への作用が一部残存している部分型 CNDI が存在していることが知られており、それらの症例に 1-deamino-8-D-arginine vasopressin (DDAVP, デスモプレシン)が有効であることが報告されています。 本研究の目的は、先天性腎性尿崩症に対する DDAVP の使用実態とその安全性、有効性を調査することです。
調査データ 該当機関	研究倫理審査委員会承認後 ~ 令和 8 (2026) 年 3 月まで
研究の方法 (使用する試料等)	対象となる患者さん 上記期間内に先天性腎性尿崩症で当院を受診され、DDAVP (商品名: ミニリンメルト) を処方された方 利用する情報: 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 使用する試料: なし
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ下記のとおり個人情報情報を削除した状態で、郵送または電子的配信にて提供します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報情報は削除致します。また、研究成果は学術集会・学術雑誌等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話: 043-277-7711 (千葉県立海浜病院代表) 担当者: 小児科 小野 真
備考	なし